

新たな宿泊需要開拓するか、グランピング

グラマラス(魅惑的な)とキャンプを合わせた造語を示す「グランピング」のオープンが各地で相次いでいる。テントやキャンプ道具などを用意しなくても、気軽にぜいたくなアウトドア体験を味わえるとあって人気が高まっている。新たな宿泊形態になるのか、グランピングの事例を取り上げた。

人気宿トップは山梨の施設

楽天トラベル調べ

■グランピングが楽しめる全国の人気宿トップ20

(楽天トラベル調べ)

1位	河口湖カントリーコートレッジBan&グランピングリゾート(山梨)
2位	GRAN CAMPING パームガーデン舞洲byWBF(大阪)
3位	キャメルホテルリゾート(千葉)
4位	マヒナ・グランピング・スパ・ヴィレッジ(静岡)
5位	GLAMPING 藤乃焔 富士御殿場(静岡)
6位	BIO-RESORT HOTEL&SPA O PARK OGOSE(オーパークおごせ)(埼玉)
7位	UFUFU VILLAGE(静岡)
8位	鹿の音がこだまする御宿 離れ 花山水(千葉)
9位	グランピングリゾート フェーリエンドルフ(北海道)
10位	那須ハイランドパークオフィシャルホテルTOWAビューコートレッジ(栃木)
11位	Sport&DoResortリソルの森(千葉)
12位	グランピングヴィラハンズ河口湖(山梨)
13位	BUB RESORT(千葉)
14位	Sahi,いわき湯本温泉(福島)
15位	富士山リゾートハウスふようの宿(山梨)
16位	妙義温泉 妙義グリーンホテル&テラス(群馬)
17位	高滝湖グランピングリゾート(千葉)
18位	GLAMPROOK飯綱高原(グランルーク)(長野)
19位	那須ハミルの森(栃木)
20位	伊豆シャボテンヴィレッジグランピング(静岡)

楽天トラベルによると、全国のグランピング施設が取り扱う宿泊プランや「グランピング」のキーワードを含む宿泊プランは増加しており、昨年3月1日から今年4月28日まで、累計で約1万8千回予約された。2年連続の1位だった。

ト全体で前年同期比34.3%の増加となっている。その中で、宿泊人数が多かった施設を調べたところ、1位は山梨県の「河口湖カントリーコートレッジBan&グランピングリゾート」だった。2年連続の1位という。約6千坪の広大な敷地を有し、富士山と河口湖を一望できるロケーションが人気。ヨーロッパ風のインテリアが施された客室には大型ウッドデッキやミニテント、ハンモックがあり、昨年6月には新たに専用



人気の河口湖カントリーコートレッジBan&グランピングリゾート

新規参入で競争激しく問われるサービスの質

露天風呂も設置された。子連れのファミリー層の割合が4割と最も多い。「全国のグランピング施設は設備構成がほぼ均一で、差別化が難しい」と、友人同士などのグループ利用に支持されている。2位は大阪から車で約20分の距離にある、アメリカのマイアミをイメージしたベイエリアに建つ「GRAN CAMPING パームガデー」。舞洲byWBF、3位は敷地内にゴルフ場が併設され、御宿海岸に近いことからさまざまなレジャーを楽しむ。千葉県の「キャメルホテルリゾート」となっている。グランピングはさまざまな業種が参入しており、今後競争は激しさを増しそうだ。消費者にアピールしてどうするか、腕の見せどころとなる。新たな宿泊先として支持されるかどうか、サービスの質も問われる。

yamagata glam

(山形県村山市)



ドーム型テント8基を整備

山形県村山市のグランピング施設「yamagata glam(ヤマガタグラム)」は古窯ホールディングス(HD)のグループ会社、リード(D)のグループ会社、リード(同県上山市)が2020年12月にオープンした。全8基のドーム型テントを備えた。ドーム型テントは、コンセプトは「山形の里山・農村の文化を体験する」。古窯HD広報・マーケティング部課長の木幡純一さんは「ヤマガタグラムは体験型グランピング

県内や宮城からの利用者多く法人や修旅の問い合わせも



快適な空間を確保

で、宿泊に加え、最上川舟下りやそば打ち、暮点焼体験などができるのが大きな特徴という。ドームテントは直径6.5m、高さ3mほど、快適な空間を確保。各部屋にはプライベートデッキを設けている。1基5人まで宿泊可能。シーズンにより料金は変わるが、おねほね泊と体験付きで税込み1基4万4千円から。1人5万2千円(2食・夕・朝)が付く。手ぶらで優雅なキャンプを楽しむのがグランピングの魅力であり、食事への期待も

公式HP: <https://yamagata-glam.com>

THE BASE GLAMPING (神奈川県湯河原町) 神奈川県西部最南端に位置する海と山に囲まれた湯けむりの地、湯河原町。開湯は千年以上前といわれ、古くから豊富で良質な天然温泉を有する由緒ある温泉街として名を馳せ、多くの観光客を魅了し続けている。3月18日には、都心から電車でおよそ90分、アクセスしやすい地、湯河原町の中心部に、薬公園を見下ろす高台に、県内初の温泉グランピング施設「THE BASE GLAMPING 湯河原」がオープン。「自由を満喫する秘密



敷地内から湧き出る温泉を堪能できる

カップル中心ににぎわい 天然温泉をぜいたくに堪能

基地をイメージして作った施設で、豊かな自然を上質なプライベート空間で楽しんでもらうことが、心身ともにリフレッシュしてもらえれば」と早川氏はいう。客室は、滞在の目的に合わせた。現在、タイプを用意している。ロフト付きの「スイート・ベース」は最大で6人滞在可能で、基本タイプの「ベース」は最大で4人滞在可能。さらに「ベース」や「スイート」のオプションとして、スイートタイプは、最大の特徴は、100%自家源泉掛け流しの天然温泉をぜいたくに堪能できること。敷地内に湧き出る源泉は加水や加温することなく、自然な状態で届けられている。源泉は弱アルカリ性の塩化ケイ酸を主成分とする。天然の美肌成分をたっぷり含んで、まるで絹のようにさらさらな肌に仕上がる「キヌメ」の名付けられた美肌の湯を味わえる。また、全棟には、上質なブルーの色合いで、浄化作用と遠赤外線効果など機能性に優れた希少な天然石「二十和石」で作られた個室露天風呂を用意した。約7平方メートルと広々とした湯船で、「夜や

シーサイドテラス千葉鴨川

千葉県鴨川市

にしがき(京都府京丹後市)が運営するマリントピアリオンは、グランピングドーム、テントとプライベートプール、客室内温泉付きプライベートヴィラの複合型リゾート。同施設は東京都心から1時間半ほど、千葉県南房総エリアに立地する。「海のまな



施設の外観。滞在エリアの眼前には太平洋が広がる

都心からほど近く、南房総の魅力存分に太平洋を見ながら過ごす上質な滞在空間

ばにあるので、オーシャンビューの美しさが売りの一つです。この今井さんの言葉通り、宿泊者の眼前に広がる太平洋の眺望は同エリアだからこそ実現できる体験価値だ。「旅行者に南房総を旅行してもらいたい。このエリアの良さを伝えてほしいです。せんえつながら、地元を活性化できるような施設になってほしい」との思いを形にするため、プライベートリゾート型のヴィラ「シーサイドテラス千葉鴨川」を3月18日に開業した。「海のまな

開放して2カ月ほどだが、「春休み期間を含んでいたこともあり、家族連れ、3〜4人ほどの女子グループなど、幅広い年齢層のお客さまにご利用いただいています」と振り返る今井さん。50〜60代のシニア層の利用もよく、「若い頃にあったような上質な滞在空間づくりに注力した。ドームは直径7.5mほどで、一部が透明窓になっていて、断熱性の高い素材のテントを用い、冷暖房も完備し、バーベキューができるウッドデッキを備える。トイレやシャワーなど水回りはコンパクトにあり、テントごとで個別に利用できるよう割り振られている。想定利用人数